

平成23年度 インターンシップ企業アンケート集計結果(受入担当)

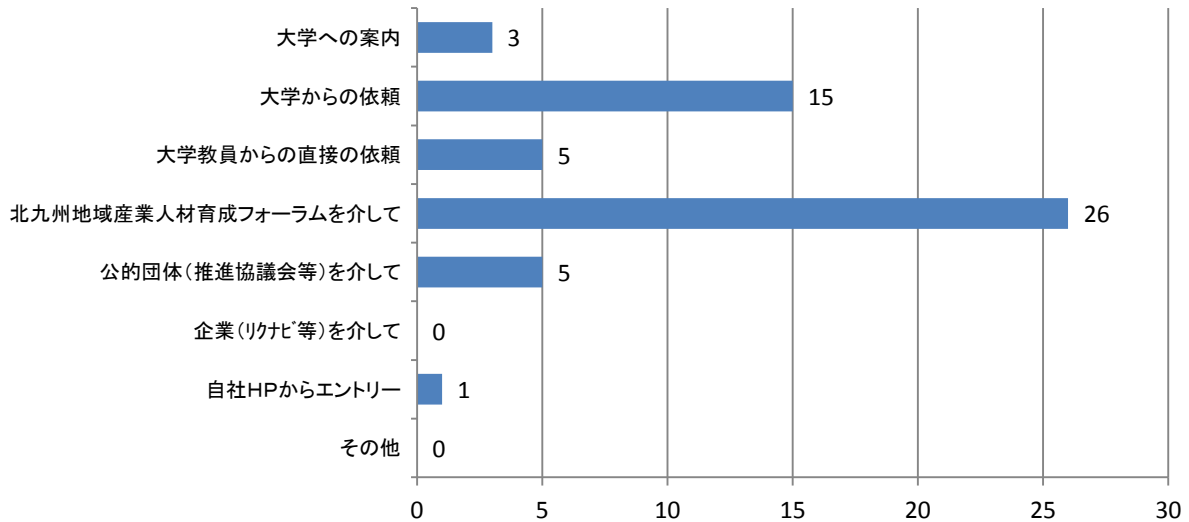
■アンケート概要

実施期間：平成23年10月3日～10月14日

対象：本年度インターンシップ学生受入れ企業(33社)

回収率：78.8% (配布:33社、回収数:26社)

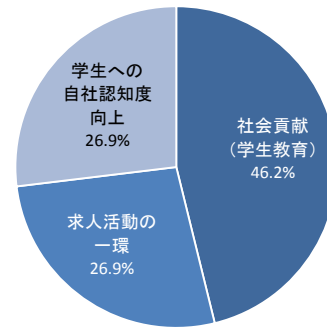
1. インターンシップ募集告知方法(複数回答可)



2. インターンシップの受入れ理由(上位3位)

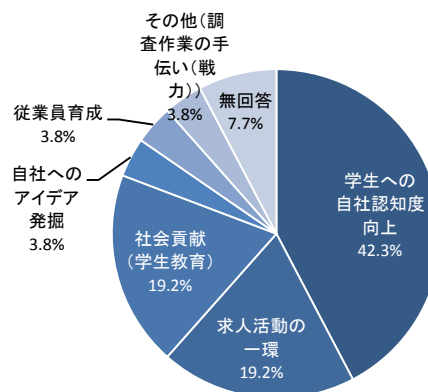
【第1位】

社会貢献(学生教育)	12
求人活動の一環	7
学生への自社認知度向上	7



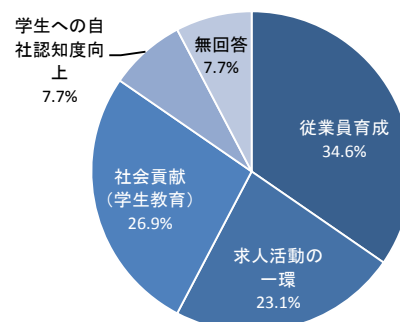
【第2位】

学生への自社認知度向上	11
求人活動の一環	5
社会貢献(学生教育)	5
自社へのアイデア発掘	1
従業員育成	1
その他(調査作業の手伝い(戦力))	1
無回答	2



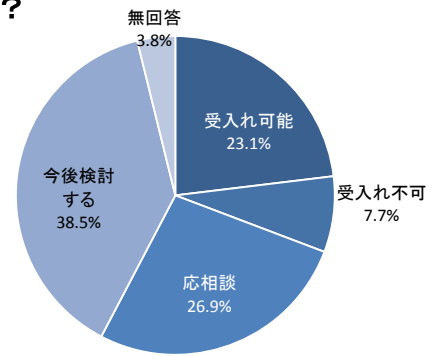
【第3位】

従業員育成	9
求人活動の一環	6
社会貢献(学生教育)	7
学生への自社認知度向上	2
無回答	2



3. インターンシップにおいて、留学生の受入れは可能ですか？

受入れ可能	6
受入れ不可	2
応相談	7
今後検討する	10
無回答	1

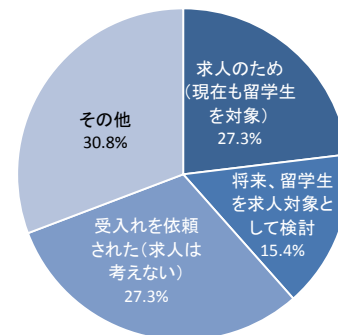


<応相談の条件>

- ・中国からの留学生が望ましい
- ・日本語の能力、秘密保持の信頼性
- ・日常会話程度の日本語力
- ・都度検討

4. 受入れる理由(受入れ可・応相談企業からの回答)

求人のため(現在も留学生を対象)	3
将来、留学生を求人対象として検討	2
受入れを依頼された(求人は考えない)	4
その他	4



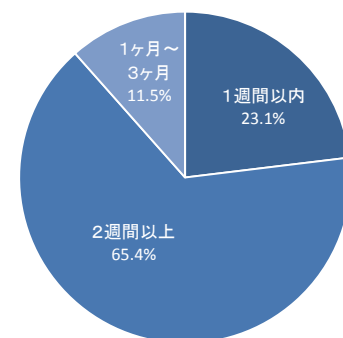
<その他の意見>

- ・社会貢献
- ・学生であれば国籍は関係ない(2件)
- ・将来のことを考慮した時、グローバルなものの方が必要になってくるかと思えます。

5. 有効なインターンシップの方法について

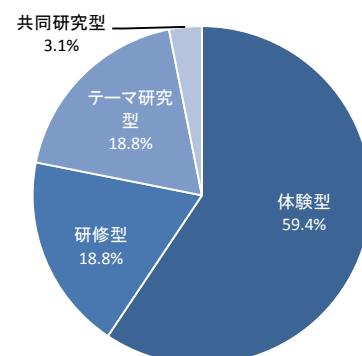
1) 期間

1週間以内	6
2週間以上	17
1ヶ月～3ヶ月	3
1年以上	0



2) 方法 (複数回答可)

体験型	19
研修型	6
テーマ研究型	6
共同研究型	1



6. インターンシップ受入の手続き等に関する困っている点について

- ◇1回の開催しか計画しておらず、複数の参加希望者がある場合には、時期と期間の調整で困っています。
- ◇中小企業のため、業務効率性を最大にすべく人材、時間を業務に振り向けているため、インターンシップの研修のために新たに、人材、時間を捻出するのに苦労している。
- ◇実施にあたり、複数の機関から重複した案内等が届き、管理に困る。できれば、窓口を一本化して頂きたい。
- ◇大学生のインターンシップ受入れについては、当社にとって初めての試みであり、実習内容、期間等の設定検討に悩んだ経緯があります。もし、可能でしたら、他社での情報を少しでも教えて頂けると更に充実した実習の企画ができるものと考えます。
- ◇メイン工場が鞍手郡にあるため、通勤手段(車)の確保が問題。
→今回は1名が車通勤ができたので、同乗させていただいた。
- ◇受入れ人数に制約があるため、複数の団体から申し込みがあった場合、実質的には一団体からしか受け付けられない。
- ◇専門学校、高専、大学と様々な依頼があること。

7. 実習を受入れるメリットとデメリット

【メリット】

- ◇学生・大学に対して、会社のPRができる。(認知度や企業イメージ向上) 11件
- ◇社内活性化(新しい刺激、発想など) 8件
- ◇社員の育成(若手社員や全体の指導力向上) 5件
- ◇社員自らの業務を改めて見直す機会となる。
- ◇学生について知る機会となる。(意見や考えを聞くことができる)
- ◇採用活動の展開(採用につながる可能性がある)
- ◇大学とのパイプ作りができる。
- ◇地域貢献
- ◇当社技術について知識のない学生に判りやすく説明することで、対外的な技術説明のポイントがみつかる。
- ◇就職活動ではわからない人材のマッチング能力を見極める場として活用。

【デメリット】

- ◇社員(実習担当者)の業務負担増 7件
- ◇実習期間の業務の遅れ(業務効率・生産性の低下) 4件
- ◇必ずしも採用に結びつかない。 4件
- ◇スケジュールの調整 2件
- ◇忙しければ、特にデメリットは感じない。
- ◇仕事と両立しながらの実習・講義となるため、お互いにロスが出る。
- ◇認識されることにより、業種をきらいになる。
- ◇守秘義務が守られるか。
- ◇指導に時間・コストがかかる。
- ◇学生を選べない。
- ◇実習時期が繁忙期と重なる。
- ◇安全を優先するため工場内での研修は説明が中心になってしまうこと。

8. 大学や学生に対する意見・希望

【大学】

- ◇学生さんへの日本語、文章能力の教育を強化して頂きたいです。
感想文の日本語や漢字が書けずに専門スキル、技術の前の基礎です。
- ◇インターンシップを受講する学生に会社に勤務する社会人としての意識をしっかりと教え、ある程度の覚悟をもってインターンシップに臨ませて欲しい。
- ◇受入れた企業を対象に学生に対する企業PRの場を作って頂きたい。
大学の先生に中小企業の良い所を理解して頂きたい。(理解を深めてもらいたい)
- ◇今後とも積極的に情報をいただきたい。
- ◇今回受入れた学生のように明るく積極的な学生であれば、継続して実習を受入れていきたい。
- ◇参加者に心構え、取組み姿勢等を事前によくレクチャーしておいて欲しい。
- ◇インターンシップを受けた学生のレポートがまとまった後、これを開示していただきたい。
次回からの受入れ参考にしたい。
- ◇実施時期を調整していただけたら、もっと実習の質が向上するのですが…。
- ◇インターンシップをもっと学生にPRして欲しい。
インターンシップを単位認定して欲しい。
- ◇北九州市の海外水ビジネスへの取組みにより、海外進出を考えた英語力不足を痛感しています。
ぜひ、英語力を強化していただきたい。
- ◇学校で教える学問が、社会(企業)でどう活かされているか、得た知識を社会の中でどのように使うかという応用力や発想力を育てて欲しい。
- ◇実習内容と学生の専攻のマッチングにご配慮願いたい。

【学生】

- ◇技術やスキルの前に、きちんとした日本語が書けるようになって下さい。
- ◇インターンシップ受講前にある程度の会社業務内容を勉強したうえで、インターンシップで具体的に何を学びたいか目的をもって臨んで欲しい。
- ◇単位取得より、興味を持って臨んで頂きたい。
- ◇実習期間中は、社員になったつもりで積極的に取り組んで頂きたい。
- ◇大学 体育会活動を通じて、目上の方との話し方や挨拶を学んでからインターンシップに臨んで欲しい。
- ◇社会人としての最低限のマナーは身に付けて、実習に来ていただきたい。
- ◇インターンシップを通して、学生生活では手に入らない「何か」を手に入れていただきたい。
- ◇常に前向きな姿勢で実習に臨んで欲しい。また、実習ばかりでなく、その企業のイメージも充分に感じ取り、お互いに有益な実習となるようにして欲しい。
- ◇受け身ではなく、業界や会社のことを事前に把握し、積極的な姿勢で臨んで欲しい。
- ◇せっかく当社を選んでもらったので、自分の実習テーマをもって来るか、事前連絡してもらおうと最大限の協力がしてあげられる。
- ◇今回の学生諸君は皆優秀でしたので、何もありません。
(九工大の学生の質を改めて再認識しました。)
- ◇最終的に決定した進路について教えてほしい。(書面などで)
- ◇「意欲を感じた」この気持ちで社会人になっていただきたい。